2027年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料

2026年11月13日

株式会社トリドールホールディングス

東証プライム　証券コード: 3397

アジェンダ

1. サマリ
2. 27/3期中間期 連結業績
3. 27/3期中間期 セグメント別業績
4. 補足資料

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

1. サマリ

※海外セグメントの略称について

・**Tam Jai**：Tam Jai
「譚仔三哥米線(タムジャイサムゴーミーシェン)」、「譚仔雲南米線(タムジャイワンナムミーシェン)」、「TamJai Mixian(タムジャイ ミーシェン)」の運営

・**MARUGAME**：MARUGAME UDON
丸亀製麺の海外展開の名称

・**Fulham**：Fulham Shore
ピザ業態「Franco Manca(フランコ マンカ)」を運営

サマリ

- 売上収益1,452億円、事業利益124億円は、中間期の業績として過去最高
- 丸亀製麺セグメント及び国内その他セグメントは、中間期の業績として、売上収益は増収で過去最高となったものの、人件費等の増加により事業利益は減益
- 海外事業セグメントは、Tam Jaiをはじめとしたアジア事業が順調に推移し増収増益、事業利益は中間期として過去最高
- 営業利益は、前期の一過性収益の剥落があり119億円と減益、親会社の所有者に帰属する中間利益は、前期の一過性損失の反動により62億円と増益
- 連結業績予想に対して概ね計画通りの進捗

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

2. 27/3期中間期 連結業績

27/3期中間期 連結業績

TORIDOLL→

売上収益及び事業利益※1は、中間期で過去最高。営業利益は前期の一過性収益の剥落により減益となる一方、親会社の所有者に帰属する中間利益は前期の一過性損失の反動により増益。通期計画に対して、概ね順調に進捗

(百万円)

	中間期 実績		前年同期比		27/3通期計画	
	26/3期	27/3期	増減額	増減率	計画	進捗率
売上収益	141,809	中間最高 **145,224**	**+3,415**	+2.4%	287,000	50.6%
売上原価	△ 34,304	△ 34,943	△639	+1.9%	–	–
売上比	24.2%	24.1%	–	△0.1%	–	–
販管費	△ 95,730	△ 97,926	△2,195	+2.3%	–	–
売上比	67.5%	67.4%	–	△0.1%	–	–
事業利益	11,774	中間最高 **12,355**	**+581**	+4.9%	22,000	56.2%
売上比	8.3%	8.5%	–	+0.2%	7.7%	–
その他の営業損益等	617	△ 489	△1,106	–	△ 5,000	–
営業利益	12,392	**11,867**	**△525**	△4.2%	17,000	69.8%
売上比	8.7%	8.2%	–	△0.6%	5.9%	–
親会社の所有者に帰属する中間(当期)利益	5,968	中間最高 **6,236**	**+268**	+4.5%	7,000	89.1%
売上比	4.2%	4.3%	–	+0.1%	2.4%	–

※1事業利益：売上収益－売上原価－販売管理費

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

3. 27/3期中間期 セグメント別業績

セグメント区分

TORIDOLL→

丸亀製麺　日本国内で本格讃岐うどん専門店「丸亀製麺」等を運営する株式会社丸亀製麺

国内その他　日本国内で展開する、丸亀製麺以外の業態

海外事業　海外を拠点に展開する業態の直営店・フランチャイズ等

※「Tam Jai」の日本国内店舗は海外事業セグメントに含みます

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

27/3期中間期 セグメント別業績

丸亀製麺及び国内その他の売上収益は、中間期として過去最高。事業利益は、人件費をはじめとした販管費の増加により減益。海外事業は事業再建によるFulhamの減収はあるものの、アジア事業が順調に推移し増収。事業利益は増益となり、中間期として過去最高

(百万円)

丸亀製麺	中間期 実績		前年同期比		27/3期 通期計画	
	26/3期	27/3期	増減額	増減率	計画	進捗率
売上収益	71,366	中間最高 73,768	+2,402	+3.4%	146,000	50.5%
事業利益	12,695	11,469	△ 1,226	△9.7%	23,000	49.9%
売上比	17.8%	15.5%	–	△2.2%	15.8%	–

国内その他	中間期 実績		前年同期比		27/3期 通期計画	
	26/3期	27/3期	増減額	増減率	計画	進捗率
売上収益	20,328	中間最高 21,223	+895	+4.4%	43,000	49.4%
事業利益	2,252	2,061	△ 190	△8.4%	4,400	46.8%
売上比	11.1%	9.7%	–	△1.4%	10.2%	–

国内合計	中間期 実績		前年同期比		27/3期 通期計画	
	26/3期	27/3期	増減額	増減率	計画	進捗率
売上収益	91,694	中間最高 94,991	+3,297	+3.6%	189,000	50.3%
事業利益	14,947	13,530	△ 1,417	△9.5%	27,400	49.4%
売上比	16.3%	14.2%	–	△2.1%	14.5%	–

海外事業	中間期 実績		前年同期比		27/3期 通期計画	
	26/3期	27/3期	増減額	増減率	計画	進捗率
売上収益	50,115	50,233	+118	+0.2%	98,000	51.3%
事業利益	2,550	中間最高 3,847	+1,298	+50.9%	5,600	68.7%
売上比	5.1%	7.7%	–	+2.6%	5.7%	–

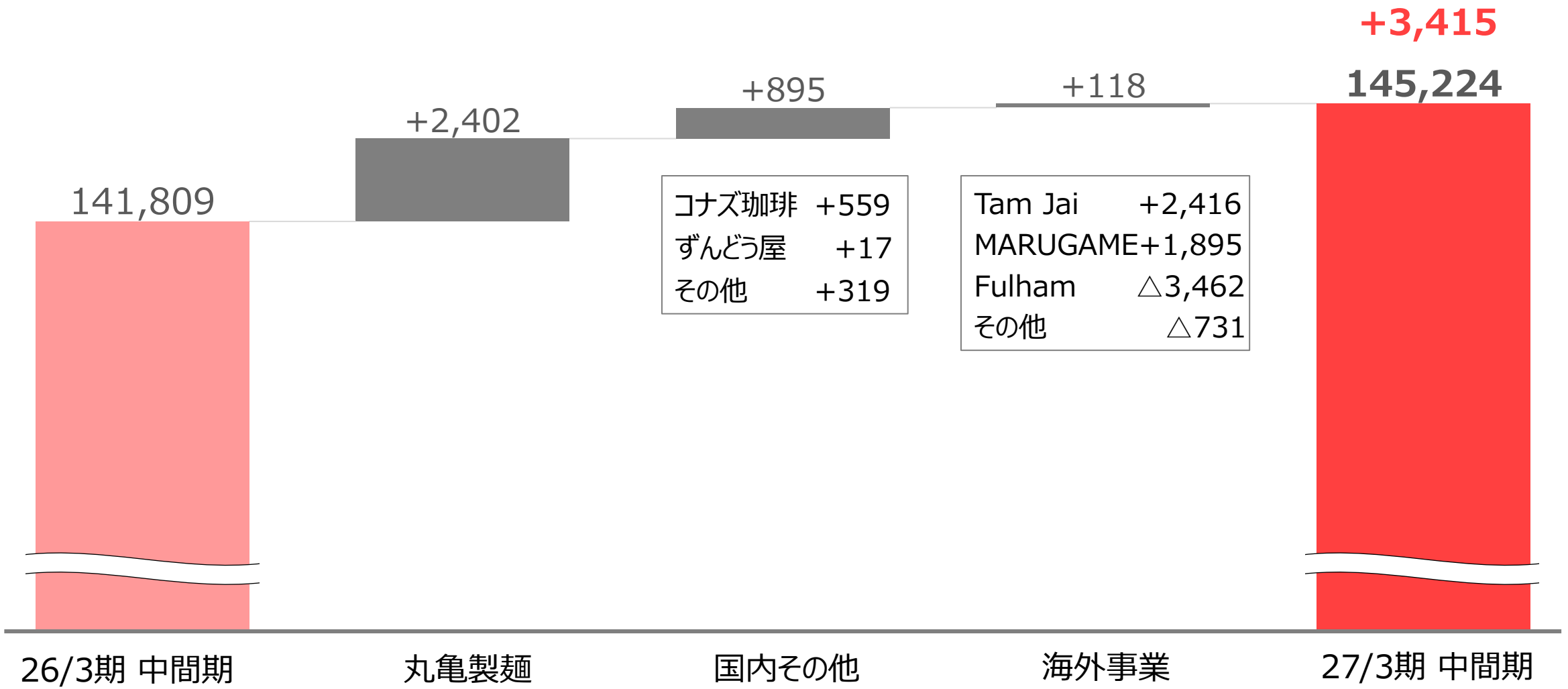
事業利益 調整額	△ 5,722	△ 5,022	+700	–	△ 11,000	–
連結売上収益	141,809	145,224	+3,415	+2.4%	287,000	50.6%
連結事業利益	11,774	12,355	+581	+4.9%	22,000	56.2%

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

27/3期中間期 セグメント別売上収益 増減

丸亀製麺及び国内その他は増収。海外事業は事業再建によるFulhamの減収はあるものの、Tam Jai及び好調なMARUGAMEのアジア事業等が寄与し、増収

（百万円）

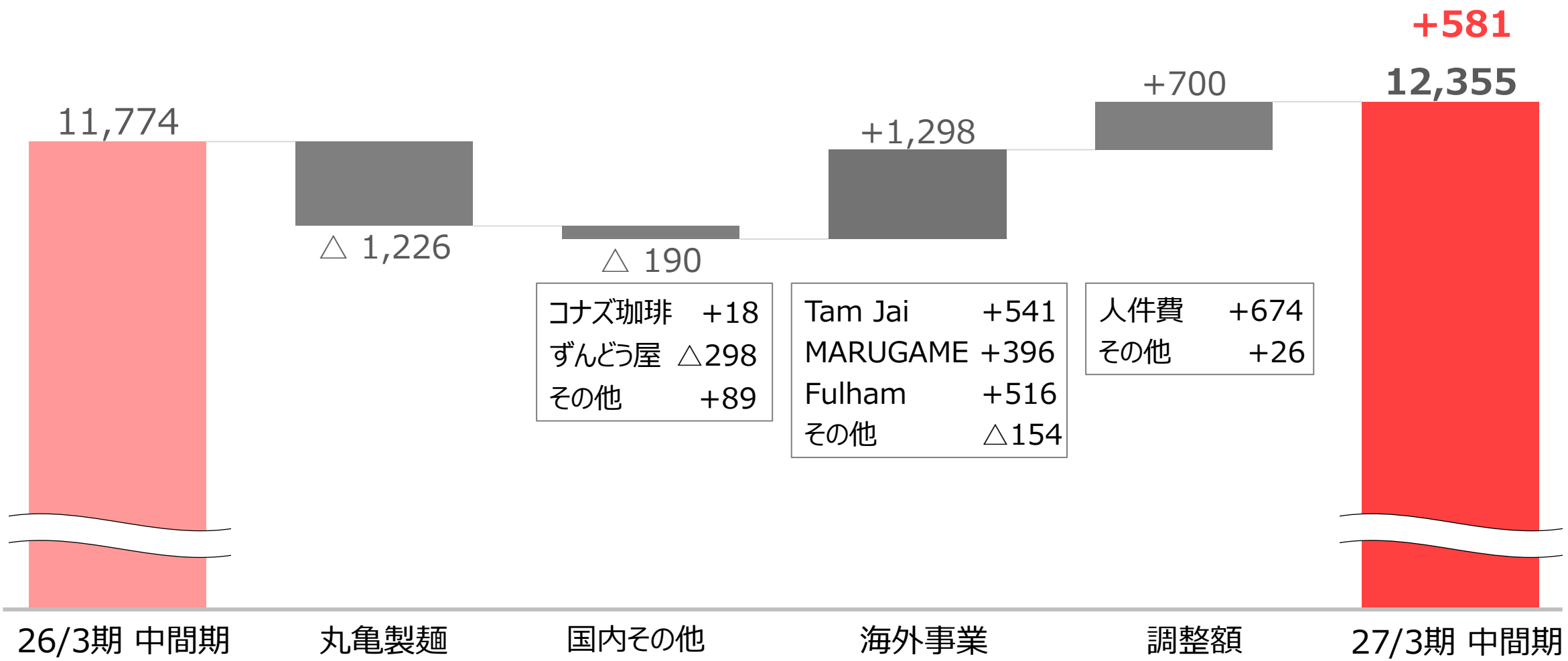


© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

27/3期中間期 セグメント別事業利益 増減

丸亀製麺及び国内その他は、人件費をはじめとした販管費等の増加により減益。一方、海外事業はTam Jaiをはじめとしたアジアが牽引、Fulhamも事業再建の進展に伴い収益性が着実に改善

（百万円）



© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

丸亀製麺　多様な食体験の創出と顧客接点の拡大

TORIDOLL→

季節商品や話題性のある施策、地域との共創を通じ、丸亀製麺ならではの多様な食体験を創出

季節に合わせた魅力ある商品展開



昆布とホタテだしの配合を見直し、**だし**の**旨み**をさらに向上。夏の新定番として全3品を展開



新作「濃厚魚介」と人気「旨辛」2種を展開。**3玉**まで**同一価格**、選べる楽しさとお得で満足な一杯

新たな食体験・顧客接点の創出



うどんの可能性を広げる商品展開。
デザートや持ち帰りなど、新たな利用シーンと**食体験**を提案

丸亀製麺×すみっコぐらし



人気キャラクターとの**コラボ商品**を展開。幅広い世代との**接点**を創出し、限定感のある食体験を提供

うどんの体験価値と地域の絆を発信



「**釜抜き**」と「**締め**」の食べ比べを通じ、製法による食感や味わいの違いを楽しむ**体験価値**を提供

－地域と企業が共創する食育プログラム－



地域の小中学生への**食育**プログラムとして、小麦の栽培から製麺までを体験。食の楽しさと**手づくり**の価値を**次世代**へ継承

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

国内その他　売上収益の内訳

TORIDOLL→

コナズ珈琲及びラー麺ずんどう屋は新店が順調に推移し、増収。その他業態では、好調な晩杯屋のほか、とりどーるや天ぷらまきの等が寄与し、増収

(百万円)

国内その他	中間期 実績		前年同期比		27/3期 通期計画	
	26/3期	**27/3期**	増減額	増減率	計画	進捗率
コナズ珈琲	7,221	7,780	+559	+7.7%	15,000	51.9%
ずんどう屋	6,099	6,115	+17	+0.3%	13,200	46.3%
その他業態	7,009	7,327	+319	+4.5%	14,800	49.5%
セグメント売上収益	20,328	21,223	+895	+4.4%	43,000	49.4%



7月オープン　天ぷら定食まきの　松戸六実店（千葉）



7月オープン　コナズ珈琲　大高インター店（愛知）



9月オープン　ラー麺ずんどう屋　川越上寺山店（埼玉）

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

国内その他　各ブランド独自の価値を磨き、成長機会を拡大

TORIDOLL→

ブランド体験の深化、販売チャネルの拡張、現場起点の商品開発を推進し、将来の成長に向けた顧客接点と事業基盤を強化

コナズ珈琲

映画『モアナと伝説の海』コラボによる新たなブランド体験



コナズ珈琲の世界観と親和性の高い映画『モアナと伝説の海』とのコラボメニューを展開。限定パンケーキやアヒポキライスボウルなどを通じ、ハワイの魅力を体感できる商品を提供し、ブランド認知の向上と新たな来店動機を創出

©2026 Disney

ハワイ最大級のイベント『Aloha Festivals 2026』初参加

ブランドの原点であるハワイとのつながりをさらに深めるため、本場ハワイで開催された『Aloha Festivals 2026』に初参加。
アロハテーブルと限定バーガー3種を共同開発・販売し、コナズ珈琲の世界観と商品へのこだわりを発信。現地でのブランド認知向上へ



ラー麺ずんどう屋

チルド麺で店舗外へブランド体験を拡張



店舗で培った「ラー麺ずんどう屋」の味わいをご家庭でも楽しめるチルド麺として商品化し、小売店で展開。ブランド体験を日常の食卓へ広げ、新たな販売チャネルの開拓とブランド認知を拡大

その他業態

現場ならではの発想を生かした商品開発



お客様に最も近い店舗従業員が、日々寄せられる声やニーズを踏まえて商品を考案。現場ならではの発想を各業態の魅力ある商品として形にし、店舗従業員の主体性を生かした商品開発を推進

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

海外事業　売上収益の内訳

TORIDOLL→

Tam Jaiは、各種施策が奏功し増収。MARUGAMEは、好調なアジア事業が牽引し増収。Fulhamは、事業再建に伴う閉店・撤退により減収。その他業態は、Monster Curryが連結除外

(百万円)

海外事業	中間期 実績		前年同期比		27/3期 通期計画	
	26/3期	**27/3期**	増減額	増減率	計画	進捗率
Tam Jai	25,267	27,683	+2,416	+9.6%	54,000	51.3%
MARUGAME	12,732	14,627	+1,895	+14.9%	30,000	48.8%
Fulham	10,138	6,676	△3,462	△34.1%	11,000	60.7%
その他業態	1,978	1,247	△731	△37.0%	3,000	41.6%
セグメント売上収益	50,115	50,233	+118	+0.2%	98,000	51.3%



8月オープン　MARUGAME　UDON（韓国）



8月オープン　MARUGAME　UDON（USA）



7月オープン　譚仔三哥米線（香港）

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

海外事業　進捗状況

TORIDOLL→

主力事業のTam JaiとMARUGAMEは増収増益で順調に進捗。Fulhamは1Qに実施した事業再建の効果が着実に表れ、継続事業は増収増益

区分	地域/ブランド	中間期の進捗	事業状況	
			売上収益	事業利益
Tam Jai	香港	・香港の外食市況の低迷が継続しているが、売上は引き続き市場を上回って推移 **・既存店の戦略的改装を推進。改装後は客数・客単価が上昇** ・CRM活用により会員の来店・売上が増加し、デリバリーの落ち込みを補完 **・コストコントロールが奏功し利益率改善。メニュー設計・食材代替・物流改善を推進**	 やや好調	 好調
	中国大陸	・既存店は好調だが、閉店や郊外店舗の売上低迷の影響で全体としては減収 ・エコノミックモデル店舗を強化。**収益改善に取り組むとともに、一定程度の出店を継続**		
	その他	・日本事業は、麻辣湯スタイルに変更した吉祥寺店は売上好調。 また、QRオーダー導入等によるコスト低減効果もあり、収益性が改善 ・各国のFC展開は、各地域の市場環境を見極めながら事業展開を推進		
MARUGAME	台湾	・競争は激化するも、高利益率を維持しつつ、増収増益。MARUGAME事業を牽引 **・店舗改装を計画的に実施、さらなる収益性強化に取り組む**	 好調	 好調
	米国	・米国の外食市況が厳しい中、新店効果もあり、増収増益		
	その他/FC	・直営の香港は、前年度に出店した店舗が好調 **・東南アジアのFC事業は、SNS効果やフェアメニューが好調に推移し、増収増益**		
Fulham	フランコマンカ	**・CVAによる不採算店舗の閉店と構造改革により、継続事業は増収増益** **・既存店は市場を上回って推移し、特にデリバリーが好調**	 やや好調	 やや好調
	ザ リアルグリーク	・Administrationと資産譲渡により、赤字事業のザ リアルグリーク事業の撤退完了		

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

海外事業　感動体験の創出

TORIDOLL→

Tam Jai

感動体験を軸とした改装を実施。シズル感のあるオープンキッチンをはじめ、ライブ感を重視した店舗に改装したことで売上が大きく伸長







入口の位置を変更し間口を広く



オープンキッチンに変更しライブ感を演出



臨場感のあるオープンキッチンに改装。**お客様の目の前で調理**。グリル台では、様々な種類の串焼きを焼きたてにて提供

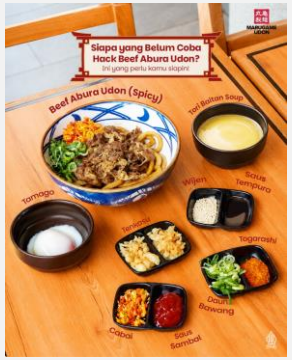




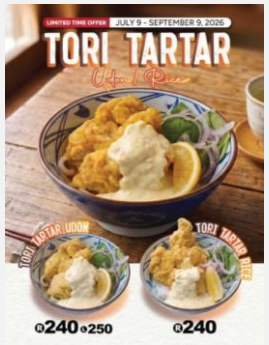
MARUGAME

インドネシアでは、Abura UdonがSNSで大ヒット。トッピングをカスタマイズしてオリジナリティあふれる1杯を創出。各国でフェア商品が好調。ベトナムでは「最も人気のあるレストラン」を受賞

ーインドネシアー
SNSマーケティング効果もあり、既存店前年比は**117%と好調**。客数増だけでなく、**有料トッピング比率増に伴い、客単価も上昇**



ーフィリピンー
フェア商品の**鶏タルタルうどん/丼**が大好評。**うどんドーナツ（MARU DONUTS）**も発売し、いずれも好評につきレギュラー商品化





ーベトナムー
2026年における**Most Loved Restaurants (最も人気のあるレストラン)を受賞**、ブランド信頼度が向上





新店オープン時の様子（ダナン）

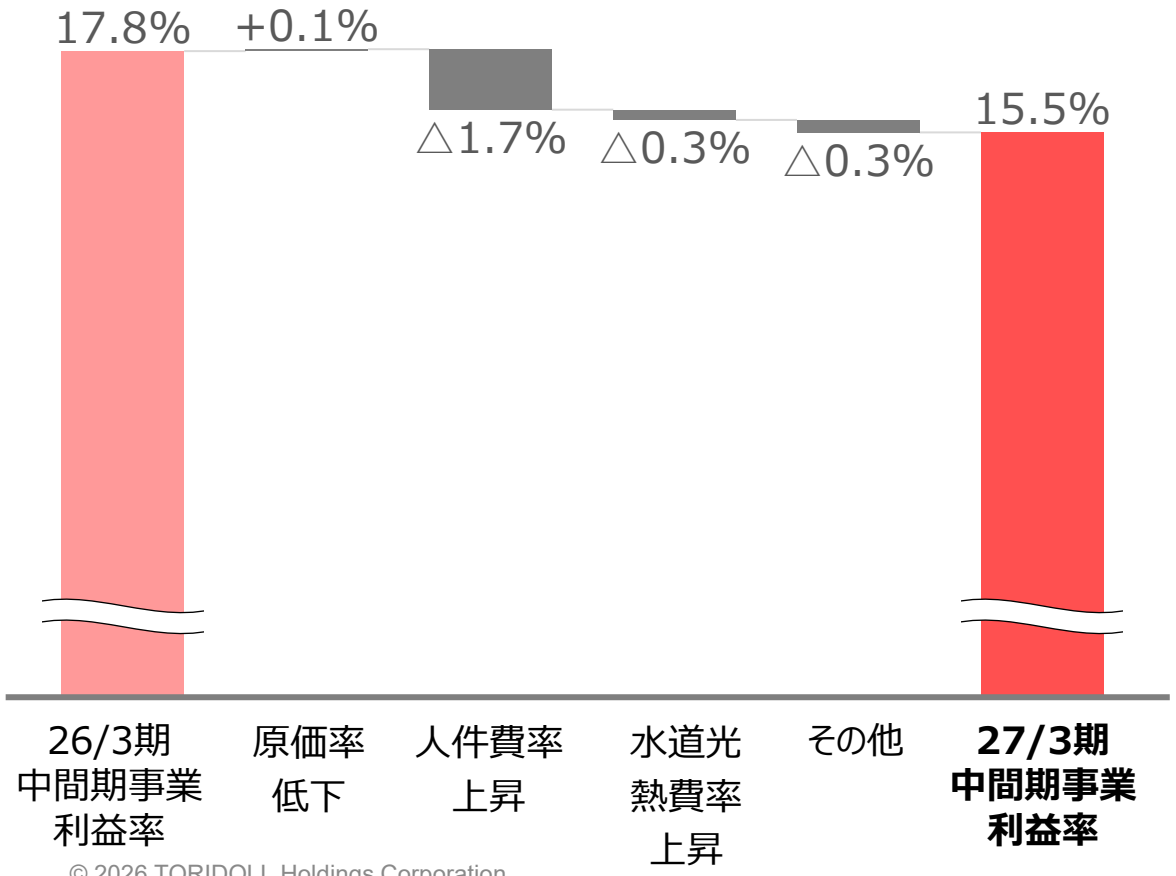
4. 補足資料

27/3期中間期　事業利益率 増減要因（1/2）

TORIDOLL→

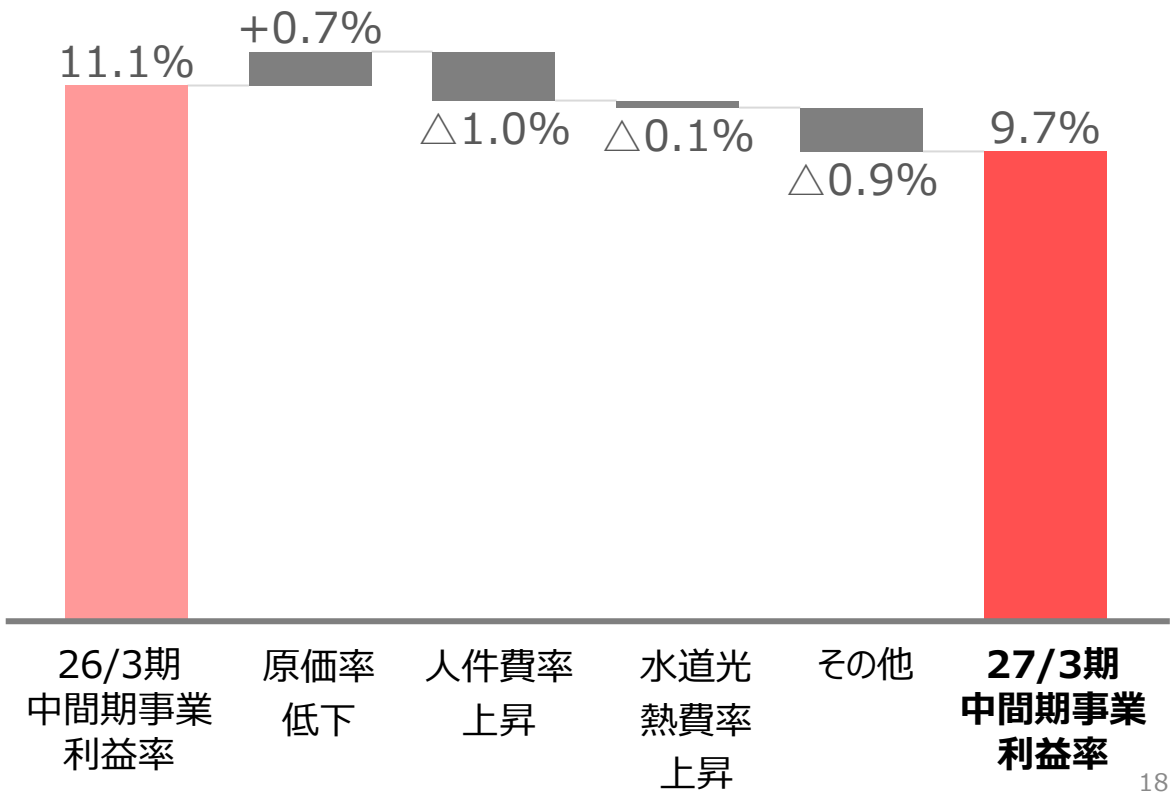
丸亀製麺

原価率は一定程度コントロール。人材充足による人員増により、人件費率が上昇。水道光熱費等の固定費率の上昇もあり、事業利益率は低下



国内その他

メニューミックス等により原価率は低下。一方、人材充足による人件費率の上昇等もあり、事業利益率は低下



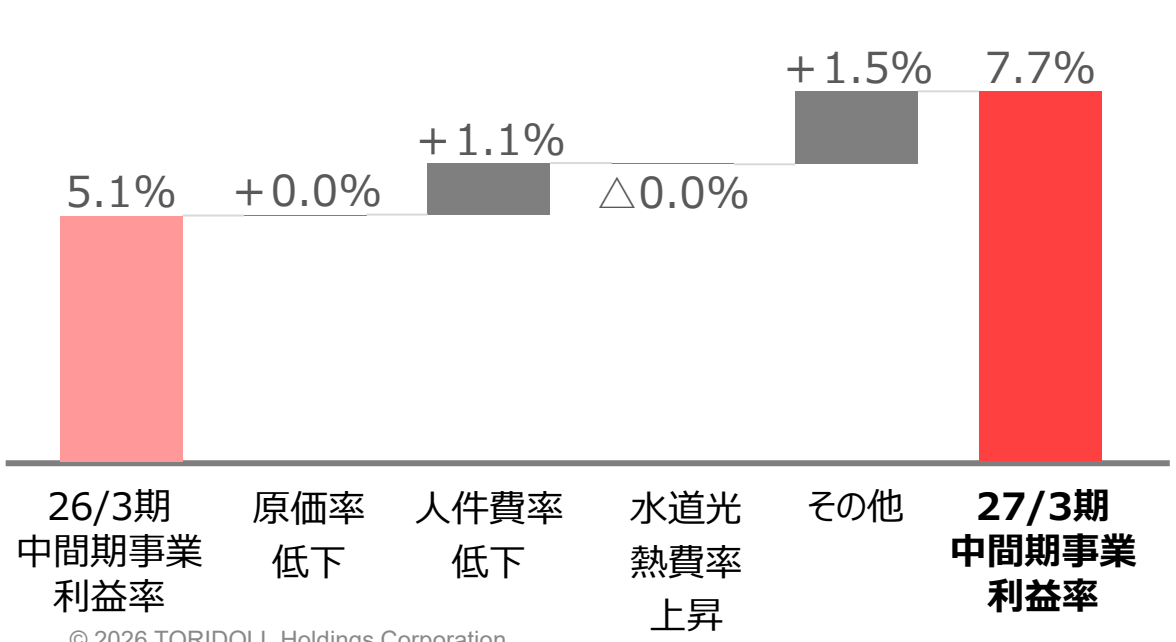
© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

27/3期中間期　事業利益率 増減要因（2/2）

TORIDOLL→

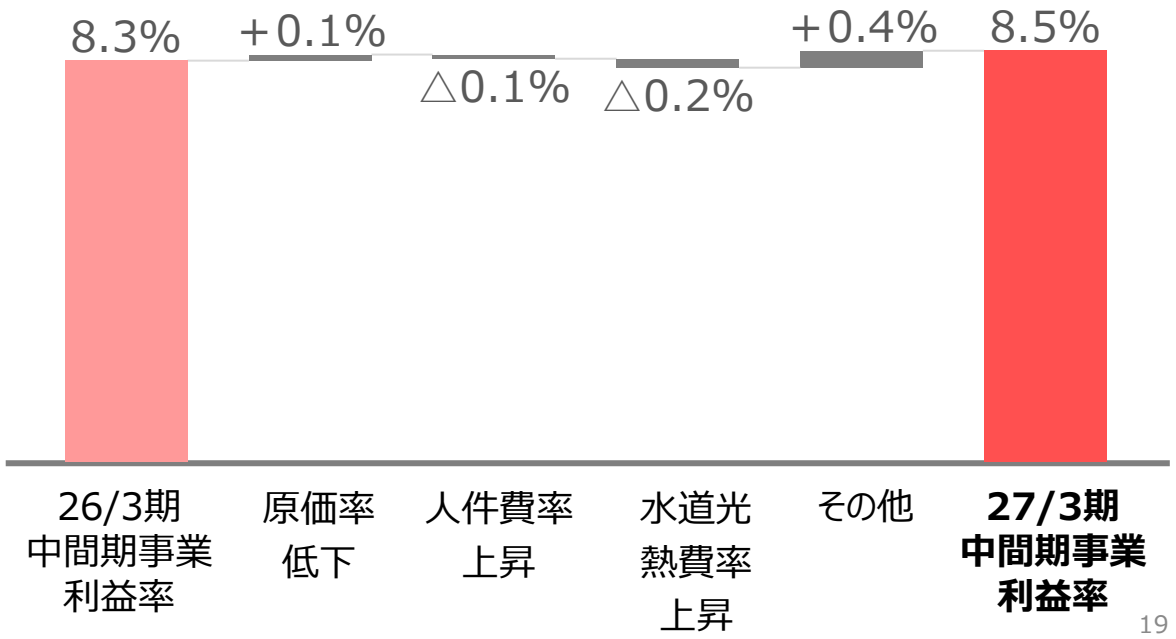
海外事業

不採算店舗の閉店や事業撤退による収益改善、コストコントロールの強化により、原価率・人件費率が低下したほか、事業再建に伴う固定費率の低下もあり、事業利益率は上昇



連結

国内外の各項目で増減はあるものの、全体としては事業再建の効果やコストコントロールが奏功し、事業利益率は上昇



© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

店舗数の推移

丸亀製麺は23店舗を出店し、通期計画の45店舗に向けて順調に進捗。国内その他は13店舗を出店し、海外では事業基盤の整備と並行して出店を継続

(店)

	26/3期	27/3期 中間期			27/3期 通期計画		
セグメント	期末店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
丸亀製麺	887	23	3	907	45	10	922
国内その他	292	13	6	299	25	6	311
コナズ珈琲	54	6	0	60	10	0	64
ずんどう屋	110	4	2	112	5	2	113
その他	128	3	4	127	10	4	134
海外事業	923	41	71	893	110	76	957
Tam Jai	232	10	5	237	24	11	245
MARUGAME	344	21	2	363	44	4	384
Fulham	96	0	49	47	0	45	51
その他業態	251	10	15	246	42	16	277
連結	**2,102**	**77**	**80**	**2,099**	**180**	**92**	**2,190**
(参考) 海外事業 運営区分別							
直営	436	18	55	399	66	62	440
FC	487	23	16	494	44	14	517

※Fulhamの49店舗の閉店は、事業再建の実行によるもの

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

27/3期 連結業績予想 前期比

(百万円)

	中間期 実績				通期			
	26/3期	27/3期	増減額	増減率	26/3期実績	27/3期計画	増減額	増減率
売上収益	141,809	145,224	+3,415	+2.4%	278,715	287,000	+8,285	+3.0%
事業利益	11,774	12,355	+581	+4.9%	21,460	22,000	+540	+2.5%
売上比	8.3%	8.5%	–	+0.2%	7.7%	7.7%	–	△0.0%
その他の営業損益等	617	△489	△1,106	–	△10,882	△5,000	+5,882	–
営業利益	12,392	11,867	△525	△4.2%	10,578	17,000	+6,422	+60.7%
売上比	8.7%	8.2%	–	△0.6%	3.8%	5.9%	–	+2.1%
親会社の所有者に帰属する中間(当期)利益	5,968	6,236	+268	+4.5%	2,311	7,000	+4,689	+202.9%
売上比	4.2%	4.3%	–	+0.1%	0.8%	2.4%	–	+1.6%

為替レート（期中平均）	実績	実績		実績	前提
USD	147.5円	158.6円		149.8円	150.0円
HKD	18.7円	20.4円		19.4円	19.5円
EUR	162.2円	184.8円		169.5円	178.0円
GBP	196.7円	214.5円		202.9円	200.0円

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

27/3期 セグメント別業績予想 前期比

(百万円)

丸亀製麺	中間期 実績				通期			
	26/3期	27/3期	増減額	増減率	26/3期実績	27/3期計画	増減額	増減率
売上収益	71,366	73,768	+2,402	+3.4%	137,193	146,000	+8,807	+6.4%
事業利益	12,695	11,469	△1,226	△9.7%	21,955	23,000	+1,045	+4.8%
売上比	17.8%	15.5%	–	△2.2%	16.0%	15.8%	–	△0.2%

国内その他	中間期 実績				通期			
	26/3期	27/3期	増減額	増減率	26/3期実績	27/3期計画	増減額	増減率
売上収益	20,328	21,223	+895	+4.4%	39,626	43,000	+3,374	+8.5%
事業利益	2,252	2,061	△190	△8.4%	4,152	4,400	+248	+6.0%
売上比	11.1%	9.7%	–	△1.4%	10.5%	10.2%	–	△0.2%

海外事業	中間期 実績				通期			
	26/3期	27/3期	増減額	増減率	26/3期実績	27/3期計画	増減額	増減率
売上収益	50,115	50,233	+118	+0.2%	101,895	98,000	△3,895	△3.8%
事業利益	2,550	3,847	+1,298	+50.9%	5,285	5,600	+315	+6.0%
売上比	5.1%	7.7%	–	+2.6%	5.2%	5.7%	–	+0.5%
事業利益 調整額	△5,722	△5,022	+700	–	△ 9,933	△11,000	△1,067	–
連結売上収益	141,809	145,224	+3,415	+2.4%	278,715	287,000	+8,285	+3.0%
連結事業利益	11,774	12,355	+581	+4.9%	21,460	22,000	+540	+2.5%

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

27/3期中間期 連結BS

主に海外事業における事業再建により、非流動資産および非流動負債が減少したものの、順調な業績等により現金および資本合計は増加。
その結果、親会社所有者帰属持分比率は前期末の29.9%から31.6%となり、引き続き財務健全性を維持

(百万円)

	26/3期末	27/3期中間期末	増減額
資産合計	309,072	306,706	△ 2,366
流動資産	86,455	88,576	+2,121
（うち、現金及び現金同等物）	69,888	72,310	+2,421
非流動資産	222,616	218,130	△ 4,487
負債資本合計	309,072	306,706	△ 2,366
負債合計	216,715	209,977	△ 6,738
（うち、有利子負債）	173,785	168,012	△ 5,774
流動負債	76,141	74,696	△ 1,445
非流動負債	140,574	135,282	△ 5,293
資本合計	92,356	96,728	+4,372
（うち、親会社の所有者）	92,411	96,768	+4,357

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

27/3期中間期 連結CF（キャッシュ・フロー）

営業CFは、主に法人税等の支払等の影響により、前年同期比で収入が減少。投資CFは、国内外の出店や改装が概ね計画通りに進捗。財務CFは、前期に実施した海外の完全子会社化に係る支出の影響等で前年同期比で支出が減少。これらの結果、フリーCFおよび期末残高は減少したものの、引き続き一定の水準を維持。財務健全性を維持しながら、将来の成長投資に備えて資金調達力の向上を図る

(百万円)

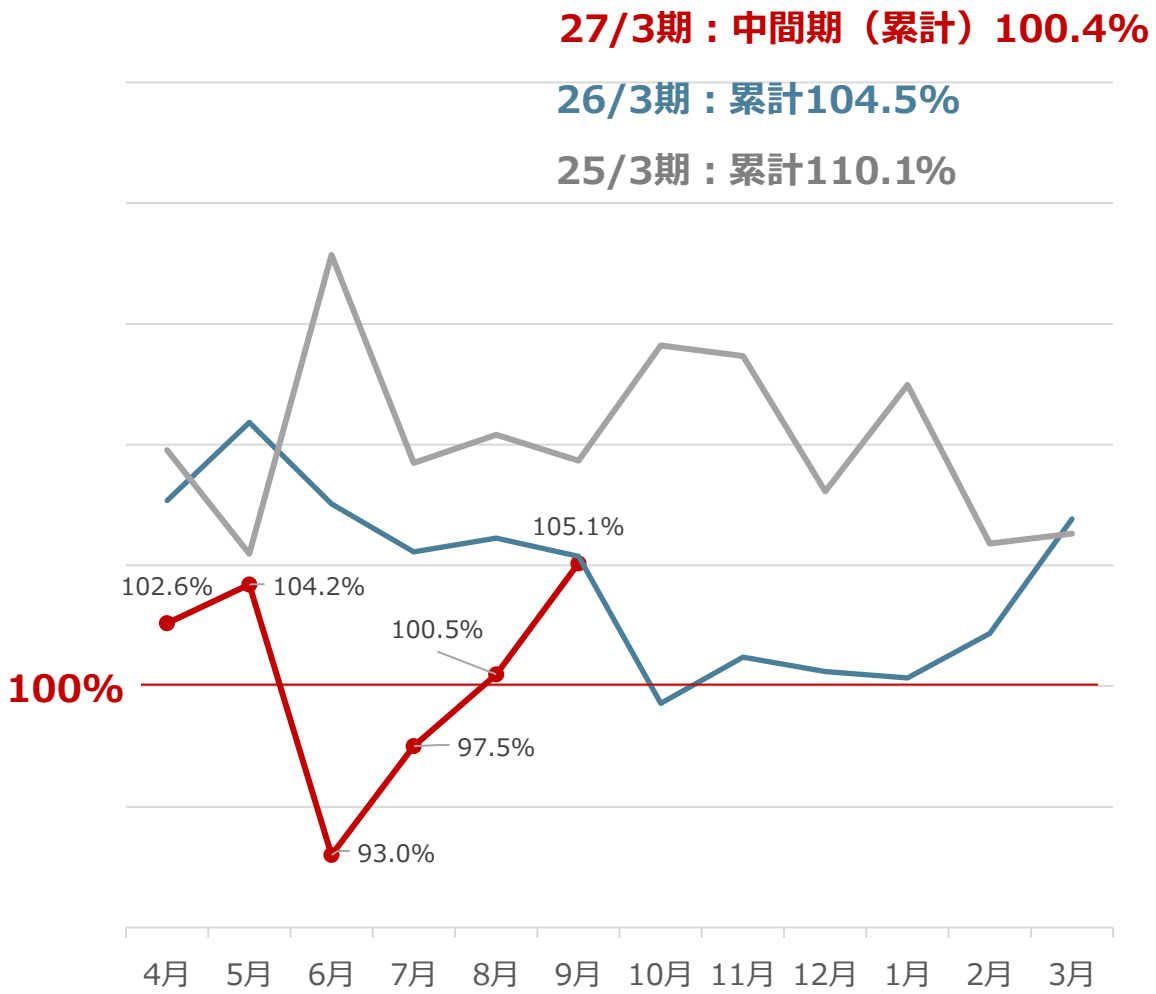
	26/3期中間期	27/3期中間期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,735	24,593	△3,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,526	△ 10,854	△1,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,384	△ 10,780	+9,604
フリーキャッシュ・フロー	18,209	13,739	△4,470
現金同等物の増減額	△ 2,174	2,960	+5,134
現金及び現金同等物の中間期末残高	80,106	72,310	△7,796

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

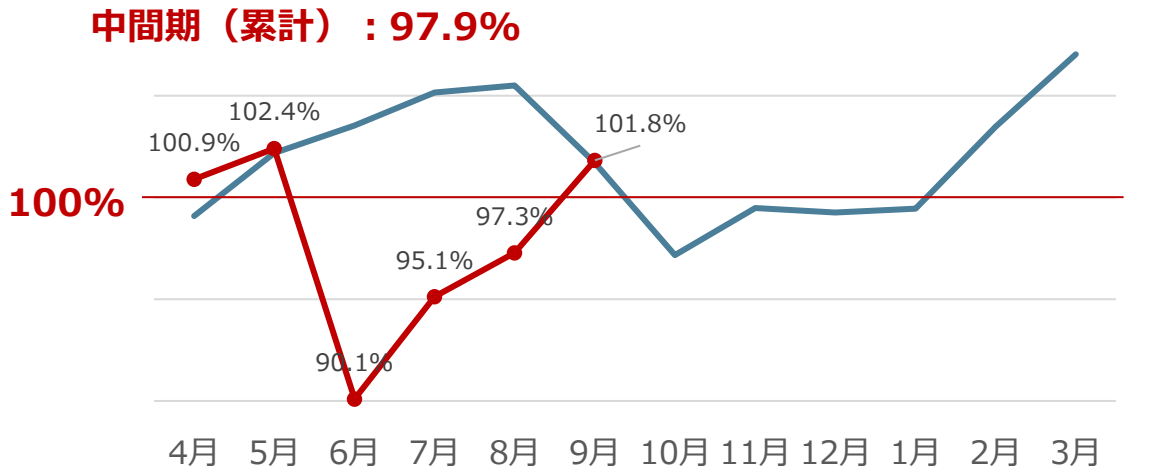
丸亀製麺事業における既存店前年比の推移

売上高・客数ともに回復基調で推移し、9月はそろって前年を上回る水準まで改善。客単価も引き続き堅調に推移

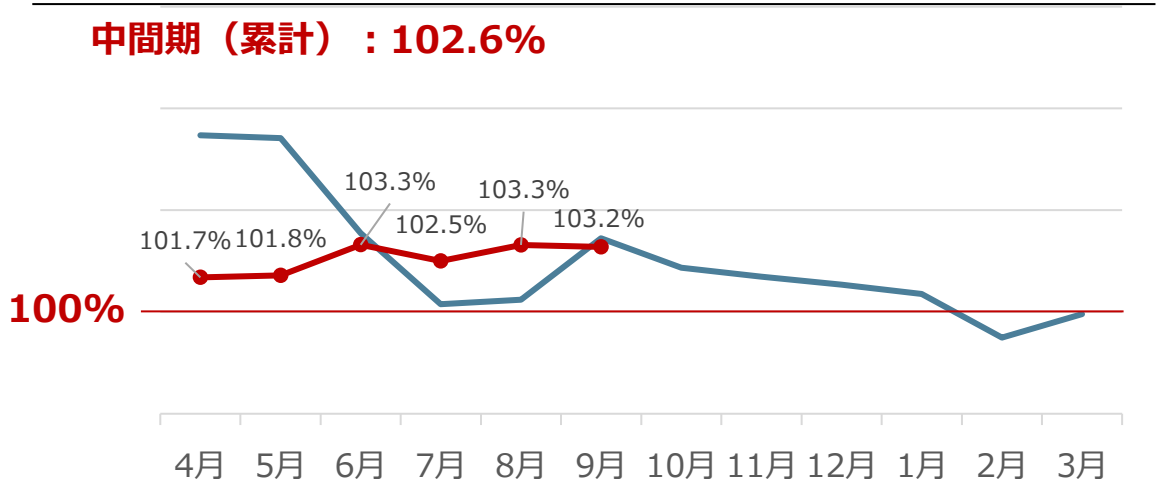
過去3期における既存店前年比：売上高



27/3期既存店前年比：客数



27/3期既存店前年比：客単価

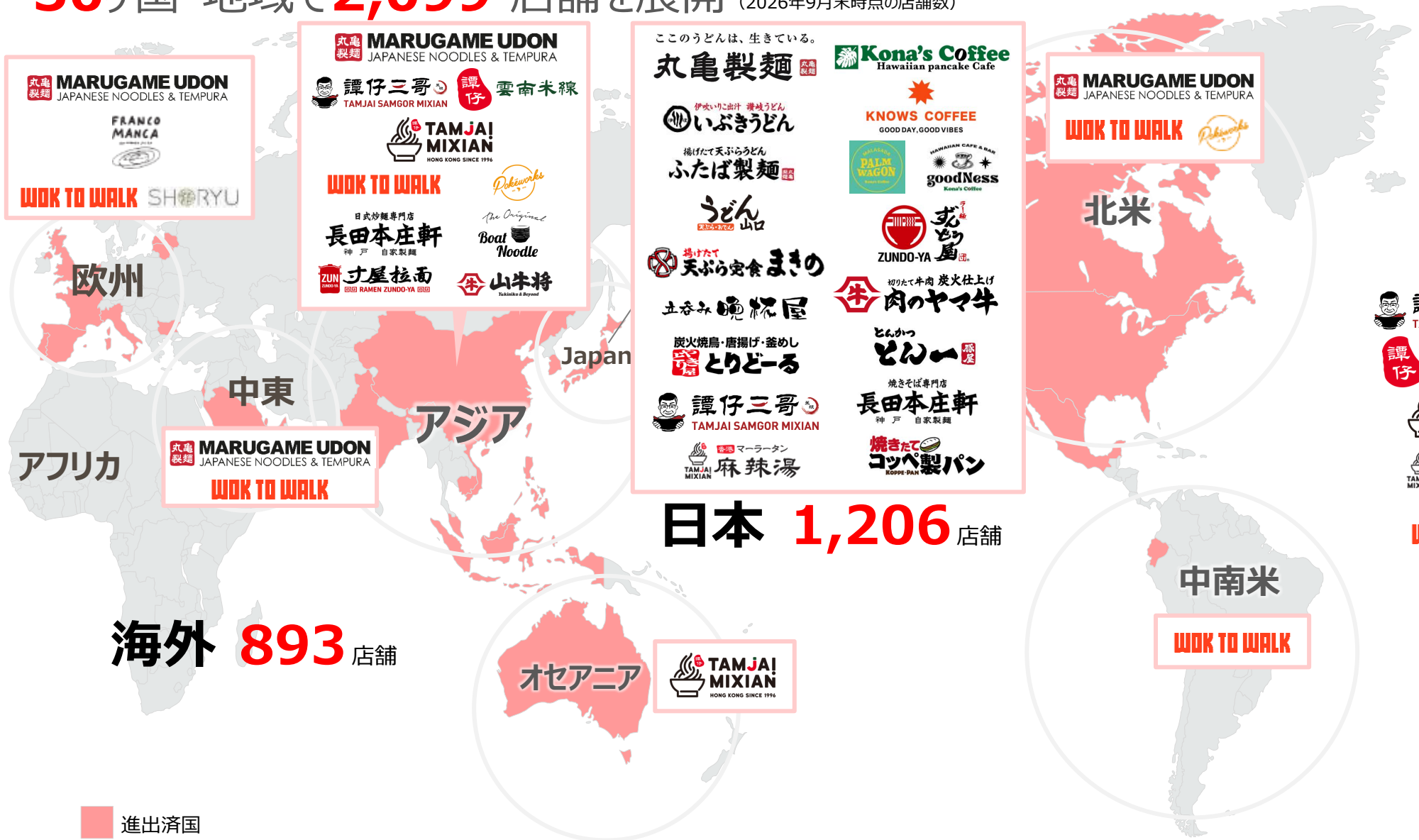


＊「既存店」は開店日から18か月経過した店舗

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

事業展開国

30ヶ国・地域で2,099 店舗を展開（2026年9月末時点の店舗数）



ここのうどんは、生きている。
丸亀製麺
MARUGAME UDON
JAPANESE NOODLES & TEMPURA

1,270店舗

日本	907
アジア	324
アメリカ	23
イギリス	9
UAE	4
カナダ	3

譚仔三哥 TAMJAI SAMGOR MIXIAN / 譚仔雲南米線 / TAMJAI MIXIAN / 麻辣湯

237店舗

香港	209
中国大陸	16
シンガポール	3
日本	3
マレーシア	3
オーストラリア	2
フィリピン	1

WOK TO WALK

89店舗

ヨーロッパ
北米
中南米
中東

Pokeworks

85 店舗

アメリカ
カナダ
台湾

FRANCO MANCA

47 店舗

イギリス

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

参考情報

TORIDOLL→

2026/10/23トリドールHD、トランスコスモスと連携し新しい建築手法「BIM」を導入開始
https://www.toridoll.com/ir/dx/news/j2oj3urmyi9q/

2026/10/15 従業員の“幸せ”とお客さまの“感動”を可視化する「ハピカンダッシュボード」2026年度グッドデザイン賞を受賞
https://pdf.irpocket.com/C3397/xoA3/IjHJ/LNHy/bprI.pdf

2026/9/28　トリドールホールディングス初の経営書『躍進トリドールの「心的資本経営」従業員重視で始まる“逆張り”の常勝メソッド』を発刊
https://pdf.irpocket.com/C3397/xoA3/MuFf/gATw/kaDp.pdf

2026/9/15　“ふわっ”とした「釜抜き」“つるん”とした「締め」丸亀製麺初の試み食べ比べ用「ひと口うどん」無料配布
https://pdf.irpocket.com/C3397/xoA3/MuFf/hzlv/i1B0.pdf

2026/9/3　トリドールHD、従業員の自主的な地域・店舗活動に対するお客さまの声を可視化する新機能「丸亀ファンスコア」を導入
https://pdf.irpocket.com/C3397/xoA3/M9fy/EfR7/kZEN.pdf

2026/8/19　トリドールHD、子どもたちの社会体験を応援する「職業体験EXPO 2026」に出展 －食の裏側や仕事の魅力を伝えるプログラムを実施－
https://pdf.irpocket.com/C3397/xoA3/tx0r/teqY/Cs9R.pdf

2026/8/5　トリドールHD、新規出店加速に向けて衛星データとAIを活用して地権者とつながる不動産AIツールを導入
https://pdf.irpocket.com/C3397/xoA3/ieAo/ksgP/JRhA.pdf

2026/8/4　トリドールHD、企業版ふるさと納税を通じた地域振興により香川県および丸亀市から感謝状を受領
https://pdf.irpocket.com/C3397/xoA3/ieAo/rmhI/M1G1.pdf

2026/7/24　全国18店舗目となる「天ぷら定食まきの松戸六実店」が7月31日（金）グランドオープン！
https://pdf.irpocket.com/C3397/xoA3/Ef45/zigt/V5Hs.pdf

連結PL&セグメント別収益推移表（Excel）
https://www.toridoll.com/ir/account/index.html

© 2026 TORIDOLL Holdings Corporation.

食の感動で、
この星を満たせ。

TORIDOLL→

どうしようもなく食べたくなる。
店に行くたびに驚きがある。
味覚だけでなく、五感までも揺さぶられ
食べ終わるのが惜しくなって、
また明日も来たくなる。

本能が歓ぶほどの圧倒的な感動体験で、
目の前のお客さまを、世界中の人々を
毎日ワクワクさせ続けよう。

食の感動に、国境などない。
これからも予測不能な進化を遂げ続けて、
人類を幸せで満たしながら、
食の世界の頂へと駆け上がれ。
それができるのは、きっと私たちしかいないから。